

MS912M+ バッチモード操作ガイド

バッチモードとは、リアルタイムなデータ送信を停止し、スキャナ内蔵のメモリ（2MB）へデータを保存していくためのモードです。離れた場所のバーコードデータを収集したいときなどにご活用いただけます。

バッチモードで保存したデータは、ホスト PC へ USB ケーブルを使用して簡単に取り出すことができます。

はじめてバッチモードを使用するには、次のページから始まる以下の手順ご参考ください。

①	バッチモードへ変更する	2
②	現在の日付と時刻を設定する	2
③	日付と時刻のフォーマットを設定する	3
④	フィールド区切り文字を設定する	4
⑤	データフォーマットを設定する	4
⑥	バッチモードで使用してみる	5

MS912M と MS912M+ のバッチモードの違い

以前のモデルである MS912M と、MS912M+ は保存したデータを取り出す方法が異なります。

MS912M では、保存されたバーコードデータは、データ送信専用のバーコードを読取ると、あらかじめ設定されている Bluetooth®通信または USB 通信を使用して 1 文字ずつテキスト送信されていました。

MS912M+ では、Windows や Mac OS など広くサポートされている USB マスストレージクラスを採用し、ほとんどの場合において特別なドライバ不要でデータの取り出しができるようになりました。また保存されたデータをテキストファイルとして一括で取り出しできるようになりました。

MS912M で採用されていたデータの取り出し方法は、MS912M+ では使用できませんので、MS912M から MS912M+ へ移行される場合はご注意ください。

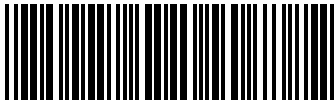
MS912M と MS912M+ のモデルの違い

(新)	MS912M+	MS912-FUBB00-SG または MS912-FUBB00-TG
(旧)	MS912M	MS912-5UBB00-SG または MS912-5UBB00-TG

① バッチモードへ変更する

MS912M+をバッチモードへ変更するには、以下のバーコードを読みとってください。

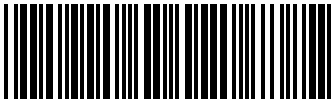
.C035\$



バッチモード

バッチモードを中止したい場合は、以下のバーコードを読み取ってください。

.E043\$



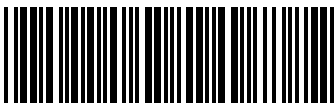
BT HID

② 現在の日付と時刻を設定する

MS912M+は時計を内蔵しており、バーコードを読み取った日付と時刻を記録することができます。以下のバーコードを使用して、日付と時刻を設定してください。

時計は、バッテリー残量が低下すると初期化されてしまいます。時計の設定を行なう前に少なくとも2時間以上の充電を行なってください。

.R006\$

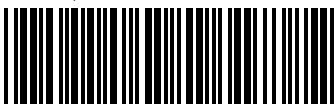


日付設定

例：日付を「2016年12月8日」に設定するには、

1. [日付設定] を読み取ります。
2. ページ下部の数字を [1]、[6]、[1]、[2]、[0]、[8] の順に読み取ります。
3. [日付設定] を読み取ります。

.R007\$



時刻設定

例：時刻を「8時10分30秒」に設定するには、

1. [時刻設定] を読み取ります。
2. ページ下部の数字を [0]、[8]、[1]、[0]、[3]、[0] の順に読み取ります。
3. [時刻設定] を読み取ります。



0



1



2



3



4



5



6



7



8



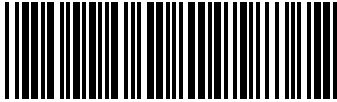
9

③ 日付と時刻のフォーマットを設定する

MS912M+は日付と時刻を保存するとき、以下のフォーマットに基づいて保存します。それぞれ、希望するフォーマットを選択してください。

標準値 = DD/MM/YYYY (コード = 09)

.R008\$



日付フォーマット

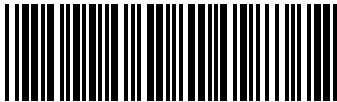
コード	フォーマット	コード	フォーマット
01	DD-MM-YYYY	09	DD/MM/YYYY
02	MM-DD-YYYY	10	MM/DD/YYYY
03	DD-MM-YY	11	DD/MM/YY
04	MM-DD-YY	12	MM/DD/YY
05	YYYY-MM-DD	13	YYYY/MM/DD
06	YY-MM-DD	14	YY/MM/DD
07	DD-MM	15	DD/MM
08	MM-DD	16	MM/DD

例：日付フォーマットを「YYYY/MM/DD (コード = 13)」に設定するには、

1. [日付フォーマット] を読み取ります。
2. ページ下部の数字を [1]、[3] の順に読み取ります。
3. [日付フォーマット] を読み取ります。

標準値 = HH:MM:SS (コード = 01)

.R009\$



時刻フォーマット

コード	フォーマット	コード	フォーマット
01	HH:MM:SS	02	HH:MM

例：時刻フォーマットを「HH:MM (コード = 02)」に設定するには、

1. [時刻フォーマット] を読み取ります。
2. ページ下部の数字を [0]、[2] の順に読み取ります。
3. [時刻フォーマット] を読み取ります。



0



1



2



3



4



5



6



7



8



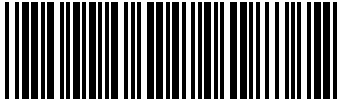
9

④ フィールド区切り文字を設定する

データフォーマットのアイテムフィールドを区切るための文字を設定します。任意の ASCII 文字から指定することができます。

標準値 = カンマ (,)

.R010\$



フィールド区切り

例：フィールド区切り文字を「セミコロン (;)」に設定するには、

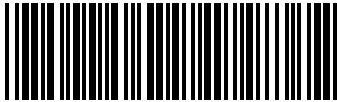
1. [フィールド区切り] を読み取ります。
2. 巻末の ASCII チャートより [;] を読み取ります。
3. [フィールド区切り] を読み取ります。

⑤ データフォーマットを設定する

MS912M+がバーコードを読み取ったとき、以下のフォーマットに基づいてデータを保存します。希望するフォーマットを選択してください。

標準値 = 日付、時刻、バーコードデータ

.R011\$



データフォーマット

コード	アイテム	コード	アイテム
2	日付	3	時刻
4	バーコードデータ		

例：データフォーマットを「バーコードデータ、日付、時刻」に設定するには、

1. [データフォーマット] を読み取ります。
2. ページ下部の数字を [4]、[2]、[3] の順に読み取ります。
3. [データフォーマット] を読み取ります。



0



1



2



3



4



5



6



7



8

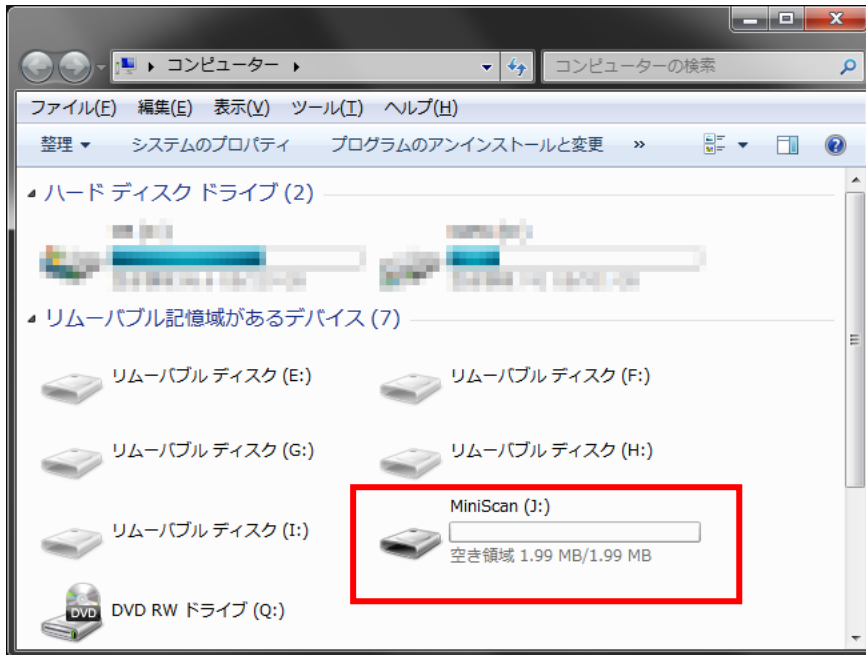


9

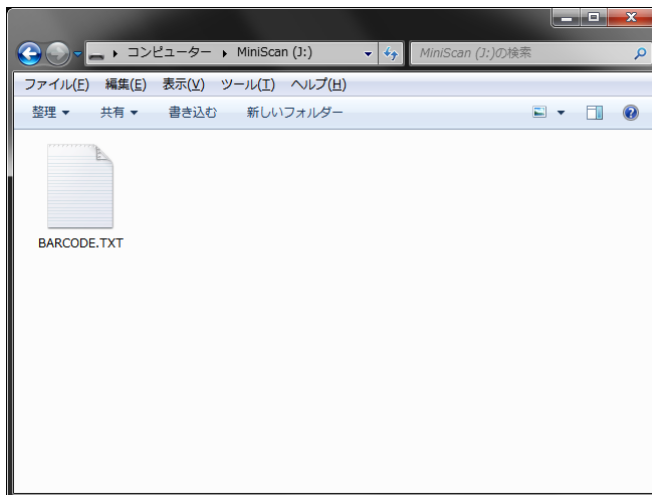
⑥ バッチモードで使用してみる

すべての設定が完了したら、バッチモードでターゲットのバーコードを読み取ります。

いくつかのバーコードを読み取ったら、ホスト PC と付属の USB ケーブルで接続します。MS912M+ はリムーバブルストレージデバイスとして認識され、エクスプローラ上で、「MiniScan」として表示されます。



MiniScan を開いて作成されている「BARCODE.TXT」ファイルを任意の場所にコピーまたは移動します。TXT ファイルには設定されたデータフォーマットに基づき、読み取ったバーコードデータが保存されています。



最後に、保存されているデータをすべて削除するには BARCODE.TXT を削除してください。ファイルが残ったまま次のバーコードを読み取った場合は、データの最後に追記されていきます。

最後に保存したデータ 1 件だけ削除したい場合は、以下のバーコードを読み取ってください。

.R005\$



最後に保存したデータを削除する

ASCII チャート

数字



0



1



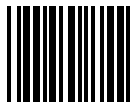
2



3



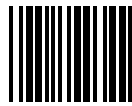
4



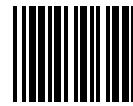
5



6



7

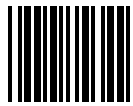


8



9

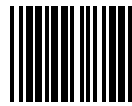
アルファベット (大文字)



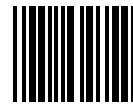
A



B



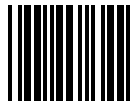
C



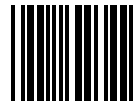
D



E



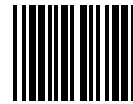
F



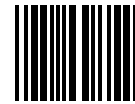
G



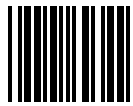
H



I



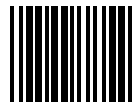
J



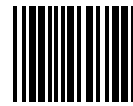
K



L



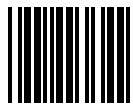
M



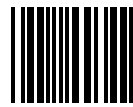
N



O



P



Q



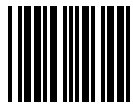
R



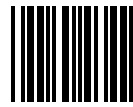
S



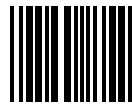
T



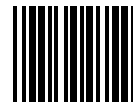
U



V



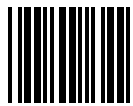
W



X



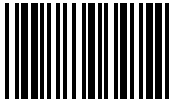
Y



Z

ASCII チャート (続き)

アルファベット (小文字)



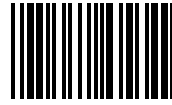
a



b



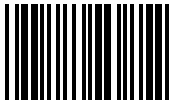
c



d



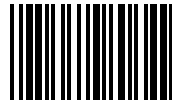
e



f



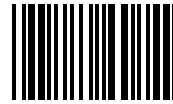
g



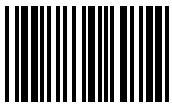
h



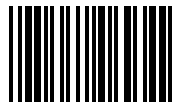
i



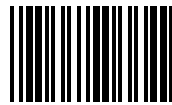
j



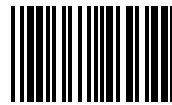
k



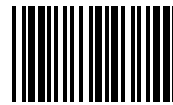
l



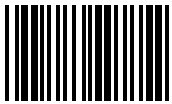
m



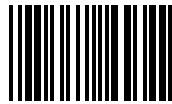
n



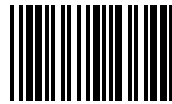
o



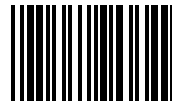
p



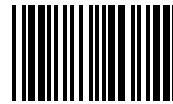
q



r



s



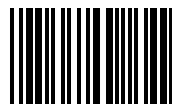
t



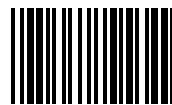
u



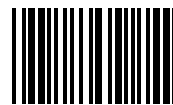
v



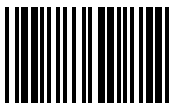
w



x




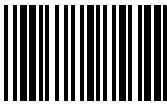
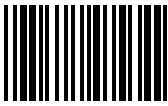

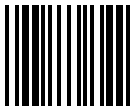

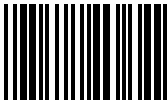









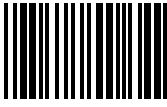

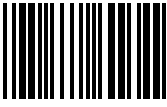

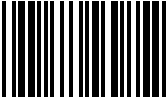

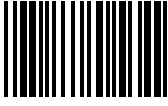
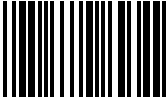


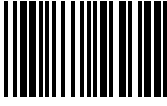
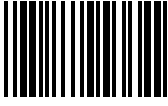


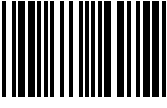
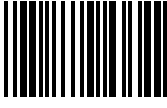
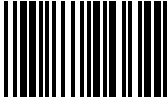
y



z

ASCII チャート (続き)

記号

				
スペース	!	"	#	\$
				
%	&	'	()
				
*	+	,	-	.
				
/	:	;	<	=
				
>	?	@	[\ (¥)
				
]	^	_	~	{
				
	}	~		